

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	建築物 Paris 協定達成小委員会	主 査 名：外岡 豊 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：糸長 浩司
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) パリ協定が発効し、気候変動対策は 2030 年および 2050 年を視野に入れた長期展望が求められている。同時に国や地方自治体でも国連アジェンダ 2030 の SDGs 対応が求められており、建築物、都市と生活の気候変動対策は重要なテーマになっている。本小委員会では、世界的な動向、建築学会での研究動向、国や地方自治体における動向を踏まえて、温暖化対策への建築物対策について現状での到達点を明らかにし、今後の展望を探るべく、客観的な実態分析と最新の対策技術及び政策手法について調査する。それに基づき、長期的かつ実践的な対応策についての提言を行う。 初年度： 1) 建築、都市、生活分野での温室効果ガス排出削減と適応策に関する最新情報収集 2) 省エネ法、気候変動適応法等関連法規に関する情報収集と問題点の検討と政策提言 3) 再生エネ、国産木材利用、SDGs、ESG 投資、GRI、CSR、SCV、UNGC 等関連事項の情報収集 4) 自治体の低炭素まちづくり等、気候変動関連行政支援 2 年度：同上＋研究集会企画主催 2 年間成果報告書作成	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：外岡豊 (埼玉大学) 幹事：川久保俊 (法政大学)、吉田友紀子 (アール・アイ・エー) 委員：高木直樹 (信州大学)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、長谷川兼一 (秋田県立大学)、山口容平 (大阪大学)、依田浩敏 (近畿大学)、松原斎樹 (京都府立大学)、平野勇二郎 (国立環境研究所)、山崎政人 (関西ビジネスインフォメーション)、加用現空 (東京都市大学)、西田裕子 (元東京都)、水島大輝 (環境省低炭素室)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q020-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	公開勉強会 竹部友久(日本設計) 省エネ建築の手法と実例 (12/2) 参加者数 10 名 配布資料なし

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	外岡豊は当小委員会の成果をもとに政府「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（仮称）（案）」に対する意見の募集」に応募、意見書を提出した（2019.5.16） 外岡豊、吉田友紀子、山崎政人 3 名は当小委員会の成果をもとにエネルギー・資源学会の『2050 年のエネルギー需給研究委員会に参加、2019.8.21 公開シンポで講演した 外岡豊は当小委員会の成果をもとに藤沢市地球温暖化対策地域協議会に参加、市の気候変動行政に助言している 同様に建築士会湘南支部会員にも助言
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	半分程度の実施状況である。
委員会活動の問題点 ・ 課題	委員の日程調整が困難 その結果、活発な議論は行えていない。